

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく2

国立市立国立第七小学校

平成26年10月2日 NO.44 (144)

あかくみ

赤組

がんばれ！



しろくみ

白組

ファイト！

オー君 「あれあれ、赤と白できれいなお花ですね。」

モンタ博士「そうだろう。国立第七小学校の運動会もいよいよあさってだね。それでね、運動会といえば赤組と白組だ。それで、赤と白のきれいなお花を持って来たんだよ。」

花ちゃん 「それで、写真のお花は何という名前の植物ですか。」

モンタ博士「これはね、『ミゾソバ』というんだよ。ソバの花ににいていて、溝、つまり、水の流れるような湿地にあるお花なんだよ。」

オー君 「へえー。そうなんだ。おいら見たことないな。」

モンタ博士「だから、モンタ博士が持ってきてあげたんだよ。近くでよく観察してごらん。」

花ちゃん 「モンタ博士、このお花は、何かににいていますね。」

モンタ博士「何ににいているのかな？」

花ちゃん 「あれ、あれ、あれです……。あまいお菓子で、むかしからあるお菓子さ……。そうだ！金平糖だ。」

モンタ博士「金平糖か……。なるほど。よくにいている。金平糖草という名前でもいいね。」

オー君 「モンタ博士、このミゾソバの茎は、ざらざらしているよ。さわってみて。」

モンタ博士「本当だね。よいところに気がついたね。どうしてかな。考えてみようよ。」

オー君 「ふーん。まっすぐ伸びているけど、茎はほそいな。いくつもまとまって生えているぞ。なぜかな？そうか。ギザギザの茎はお互いにかみあって立つためということだ。こりゃ、大発見だ。あれ？花ちゃん。何やってるの。」

花ちゃん 「ジャーン！ミゾソバの花の絵、完成です。」



ミゾソバをウオッチング！

ミゾソバはピンク色の金平糖のようなかわいらしい花を咲かせているが、ウオッチングすると、小さな花が10～20個集まって一つの花のように見せている。ところが、さらにウオッチングしてよく見ると、集まった花のうち、咲いているのはほんの数個にすぎない。要するに、花を順番に咲かせて、長い期間、花が咲き続けているようにしているのである。ところが、数個の花では目立たないから虫を呼ぶことができない。そこで、咲き終わった花も、咲いているかのように美しいピンク色をして目立つようにしているのである。